

はじめに

皆様には一段とご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに2019年度版『鳥取大学地域学部国際地域文化コース 地域調査プロジェクト成果報告書』をお届けいたします。

御恵存いただければ誠に幸甚と存じます。

本報告書は、国際地域文化コースの2年生が、通年の必修科目「地域調査プロジェクト」で実施した調査研究の成果を記すもので、去る2020年1月25日（土）、同大学地域学部棟5160講義室に於いて公開された「国際地域文化調査成果発表会」に基づいて纏め上げた貴重な記録でもあります。2019年度版も又、新たなテーマを加え、「旅日記」「まちの看板」「まちづくり」「考古学」「国際交流」の5つのグループで取り組みながら、1年に及ぶ地道な調査研究の足跡を印する内容となっています。

この「地域調査プロジェクト」の授業は、「地域学」に関する学部共通科目の一つとして、1年次に履修する「地域学入門」に続く「地域学」の根幹の科目として位置づけられており、学生たちは、さらに3年次の「地域学総説」を通して、総合的な「地域学」への理解を深め、専門ゼミⅠ・Ⅱを経て、4年次の卒業研究（論文）へと結実させて参ります。基本的には実践的なフィールドワークの手法を取り入れ、諸地域に息づく多様な文化を調査し分析する方法を学習するという主旨のもとに、本報告書は、いわば学生一人一人が、自ら真摯に「文化」と向き合った証左であるともいえるでしょう。

さて、5つのグループによる成果報告に先立ちまして、各調査研究の概要を成果発表会に沿ってご紹介させていただきます。

1. 『吉岡の日記』を読む—文化元年十月五日～十九日—：「旅日記」グループでは、6代鳥取藩主・池田治道の娘（7代・斉邦の妹）である姫様姉妹が、吉岡温泉へ湯治に向かう道中での様子や当地での出来事を記した『吉岡の日記』（鳥取藩士の鷺見休明の作）を読み進める上で、改めて翻刻作業を行うことで文書をより正確に理解しつつ、作中に込められた鷺見の思いや彼が目にした事物について、深く洞察した内容を仔細に伝えています。
2. 街にたなびく広告たち—考現学から読み解くロードスケーパー—：「まちの看板」グループでは、街中でよく目にする幟・旗・横断幕・垂れ幕・タペストリーといった店舗の宣伝に用いられる様々な「たなびく広告」に注視して調査研究を行ないました。特に湖山街道や鳥取南バイパス、さらに若桜・智頭街道を拠点にフィールドワークを実施し、色彩や大きさ等、計14項目について詳細に分析してその特徴や傾向を明らかにするとともに、その相互関係性や背景、要因についても検討を加えています。
3. Life～鳥取の“風の人”にきいてみた～：「まちづくり」グループでは、移住に関する文献調査に加えて、実際に鳥取に移住して来られた人々、即ち“風の人”たちへのインタビュー調査をもとに、そうした“風の人”たちが抱く個々の思いを丁寧に取り取りながら、鳥取での新生活の中で見出された暮らしの楽しみ方や創意工夫、さらには地域との関わり方を考察した結果を活写しています。
4. 湖山周辺の歴史的環境復元：「考古学」グループでは、鳥取大学湖山キャンパスのある濃山台地の遺跡から出土した遺構や遺物をもとに、残された複数の遺跡を対象に綿密な調査を行ないました。特に築造時期の不明な大熊段古墳を解明する為の発掘調査に取り組むとともに、「戦時中に掘られた」と伝えられる溝などからも当古墳の性格を追究しつつ、それらの調査結果について明らかにしています。
5. 澤田美喜と占領期の子どもたち—エリザベス・サンダース・ホームと鷗鳴荘—：「国際交流」グループでは、占領期に外国の兵士と日本人女性との間に生まれた「混血孤児」をわが子同然に保護し育てた「澤田美喜」という女性に着目し、彼女が設立した孤児園「エリザベス・サンダース・ホーム」の歴史や、鳥取県岩美町にある澤田家の別荘「鷗鳴荘」と当ホームの繋がりについて、文献調査、地域の関係者や専門家への聴取、県内外での施設調査など、それらの貴重な報告を興味深い視点で綴っています。

以上のように、2019年度における調査研究を滞りなく進めるにあたりまして、末筆ではございますが、「助成会」ならびに「尚徳会」の皆様には、資金の面で温情あるご支援を賜りましたことに心より御礼申し上げます。また地域の皆様のご厚誼やご協力に支えられ、さらに専門的な知識や助言を御提供下さいました研究者及び行政関係者の皆様からも新たな力を得て1年間の調査を行うことができましたことに、一同、改めて深謝申し上げます。そして本報告書が多くの人々の目に触れ、地域の文化を慈しむ気持ちを誘いながら、文化の創造と活力ある社会の実現を目ざす上での貢献となりますように強く祈念いたします。

皆様には、この「地域調査プロジェクト」の調査研究を、是非とも長い目でお見守りいただきますとともに、今後ともよろしくご指導ご鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

2020年（令和2年）5月6日

鳥取大学地域学部地域学科国際地域文化コース コース長 内 藤 久 子